

# Webフックベースのセキュリティイベント are not ; 受信 at ; オンプレミスHTTPコネクタ for SIEM統合

## 内容

---

---

## お問い合わせ内容

SIEM統合用のオンプレミスHTTPコネクタでWebHookベースのセキュリティイベントが受信されません。

## 環境

- 製品 : Cisco Secure Access(SSE)
- テクノロジー : ソリューションサポート – セキュアアクセスのレポートとロギング
- 統合タイプ : Webhookベースのサードパーティ統合
- ターゲットコネクタ : オンプレミスHTTPコネクタ
- ダッシュボードのステータス : サードパーティ統合がAdmin > Third Party Integrationsで正常にロードされます。

## 解決策

Cisco Secure Accessサードパーティ統合のWebフック配信の問題を解決するには、これらのCisco SSE送信元IP範囲からの着信HTTPSトラフィックを許可するようにファイアウォールルールを設定します。

### 必要なファイアウォール設定

次のCisco SSE送信元IP範囲からオンプレミスコネクタへのインバウンドHTTPSトラフィックを許可します。

146.112.161.0/24

146.112.163.0/24

146.112.165.0/24

146.112.167.0/24

これらのIP範囲は、Webフック配信のためにCisco SSEがEUと米国の両方の地域から使用する共有IPアドレスを表します。

## 確認手順

手順1:SSEダッシュボードでサードパーティの統合ステータスを確認します。

SSEダッシュボードでAdmin > Third Party Integrationsに移動し、統合が組織に対して正しくロードされていることを確認します。

手順2：ファイアウォールルールを設定します。

指定されたSSE IP範囲からオンプレミスのコネクタサーバーへのインバウンドHTTPS接続を許可するように、ネットワークファイアウォールと介在するファイアウォールを更新します。

ステップ3:Webhookイベント配信をモニタします。

ファイアウォールの変更を実装したら、オンプレミスのHTTPコネクタを監視して、Cisco SSEからWebhookイベントを受信していることを確認します。

## その他のトラブルシューティング

ファイアウォールルールを設定した後もwebhookイベントが受信されない場合は、次の手順を実行します。

- オンプレミスコネクタが正しく構成され、予期されたポートでリッスンしていることを確認します。
- SSE送信元IPとコネクタエンドポイント間のネットワーク接続を確認します。
- SSEダッシュボードでwebhook統合設定を確認します。
- Webフック配信をリアルタイムでレビューするために、ライブトラブルシューティングセッションをスケジュールすることを検討してください。

## 原因

Webhook配信の障害は、ネットワークファイアウォールがCisco SSEの送信元IPアドレスからオンプレミスのHTTPコネクタへの着信HTTPS接続をブロックした場合に発生します。Cisco SSEは、EUおよび米国の地域にある共有インフラストラクチャから特定のIP範囲を使用してWebhookイベントを配信します。イベントを正常に配信するには、これらをファイアウォール設定で明示的に許可する必要があります。

## 関連コンテンツ

- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。